

CT (マルチスライスCT)

機器の構成

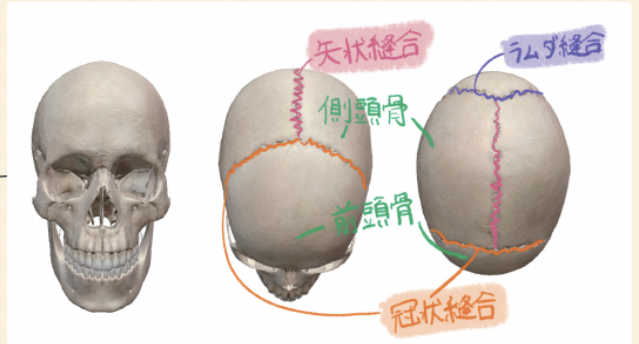


- ガントリー
 - 管球
 - エックス線検出器
- テーブル

被写体を中心に
管球とX線検出器を
回転させながら
扇状のエックス線を照射

被写体を透過してきたX線を
検出器が受信。
その結果をPCで分析し画像化。

冠状・矢状・水平の語源



水平データしか撮影していないのに
なぜ、矢状・冠状が分かるのか

MPR画像
(Multiplanar
Reconstruction)

多断面再構成画像
得られたスライスデータを
重ね合わせて、PCで処理。
通常のCTでみる水平断とは
異なった方向の画像をつくる
これにより、
インプラント術前の下顎管や
上顎洞までの距離の計測が可能に

CT値

水のエックス線吸収係数を基準
単位=HU

- 歯 ○ +1000~3000
- 骨 ○ +1000
- 筋肉 ○ +50~100
- 水 ○ 0
- 脂肪 ○ -100
- 空気 ○ -1000



値が高い(+)=白く映る
値が低い(-)=黒く映る